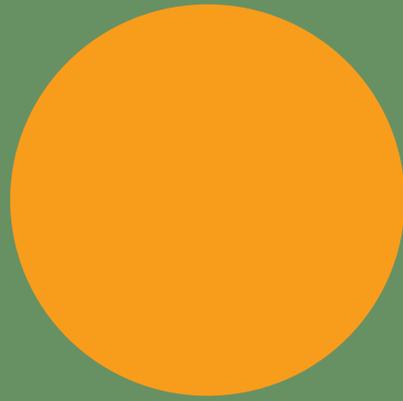
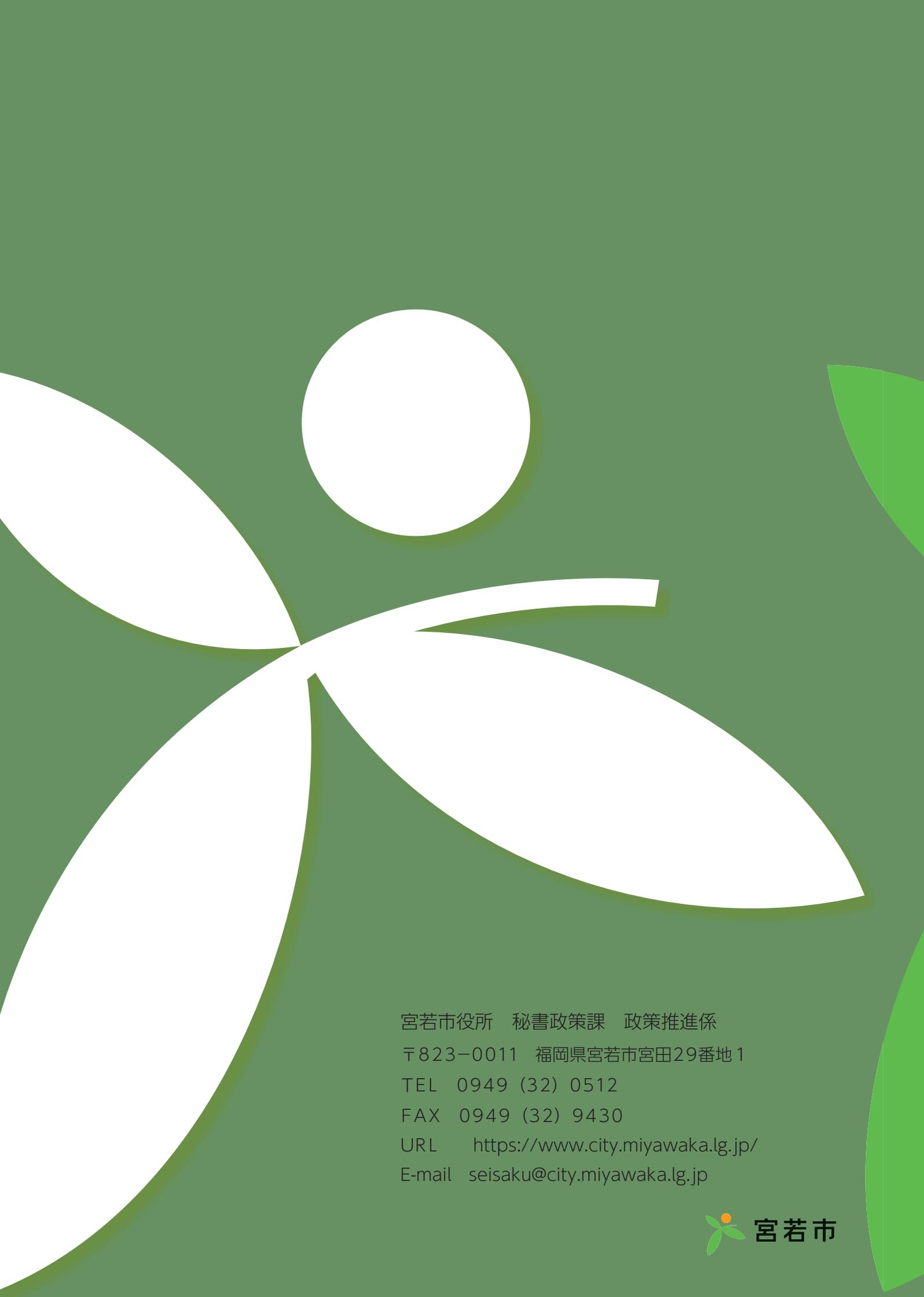


令和4年度（2022年度）
わかりやすい決算書

宮若市マナーブック





宮若市役所 秘書政策課 政策推進係
〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1
TEL 0949 (32) 0512
FAX 0949 (32) 9430
URL <https://www.city.miyawaka.lg.jp/>
E-mail seisaku@city.miyawaka.lg.jp

ごあいさつ

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆さまにまちづくりに関する情報を積極的にお知らせし、情報の共有に努めております。そのひとつとして、決算の概要をわかりやすく説明した「宮若市マネーブック～わかりやすい決算書～」を作成しており、このたび、令和4年度分の決算内容をまとめたマネーブックが完成しました。

令和4年度一般会計においては、新型コロナウイルス感染症の対策や影響を受ける市民、事業者の方々を支えるための支援をはじめ、様々な施策を進めてきましたが、国・県の制度を活用して歳入の確保を図るとともに、ふるさと納税の増加や間断ない行財政改革を進めてきた結果、黒字決算となりました。

令和4年度に実施した主な取り組みとして、まず、私が市長就任以来、特に力を注いできました市の最上位計画「第2次宮若市総合計画後期基本計画」（計画期間令和5～9年度）を策定しました。また、気候変動を背景とする地球温暖化への対応として、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「ゼロカーボンシティ」を表明し、今後更なる取り組みを進めるほか、頻発・激甚化する自然災害の対応として、鶴田地区の排水施設整備を行い、災害対策を進めるなどこの豊かで美しい自然環境を将来に繋げていくための基盤づくり等を進めてきたところです。

宮若市は市制施行18年目を迎え、今年度より第2次宮若市総合計画後期基本計画がスタートしました。この計画に掲げる各施策の着実な実施に向けて、全力で取り組みを進めるとともに、誰一人取り残さない、市民目線・市民主体の観点の下、宮若市の魅力を最大限に活かし、発展させ、さらに創造を重ねながら、このまちに住む皆さんが「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と感じ、誇りを持てるような輝くふるさとづくりに向けてさらに邁進してまいりますので、今後とも皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和5年9月

宮若市長
塩川秀敏



宮若市民憲章

制定年月日
H 20. 2. 22

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史と伝統を先人より受け継いできたまちです。このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を
実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。
- 一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

市章



「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。

制定年月日 H 18. 2. 11

市の花



彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。

制定年月日 H 20. 2. 22

市の木



桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。

制定年月日 H 20. 2. 22

宮若市歌「輝くふるさと」

制定年月日
H 25. 2. 11

安らげる人がいる 癒される緑がある
そして輝く 歴史がある
宮若市温かいふるさと
宮若市輝くふるさと
さあここへお出でよ
共に輝く未来を築こうよ
輝くふるさとを築こうよ

風が優しさを連れてくる
水が命を授けてくれる
人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる
そんな街だよ 大好きな街だよ
君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある
そして輝く 歴史がある
宮若市温かいふるさと
宮若市輝くふるさと
さあここへお出でよ
共に輝く未来を築こうよ
輝くふるさとを築こうよ



はじめに

宮若市では、市民の皆さんと協働でまちづくりを行うため、市の情報を積極的に公開しており、その1つの方法として、予算書と決算書の概要版を作成し、市民の皆さんに配布しています。

このマネーブックは「第2次宮若市総合計画」で定めた6つの基本方針に基づいて構成しています。基本方針ごとに、どのような事業を行い、どれくらいのお金を使ったのかをできるだけわかりやすく紹介しています。

なお、個々の事業の内容については、直接担当課までお問い合わせください。

宮若市では「ひと・みどり・産業が輝く ふるさと宮若」を将来像としてまちづくりを行っています。この実現に向けて、6つの基本方針を定めています。

まちづくりの基本方針



もくじ

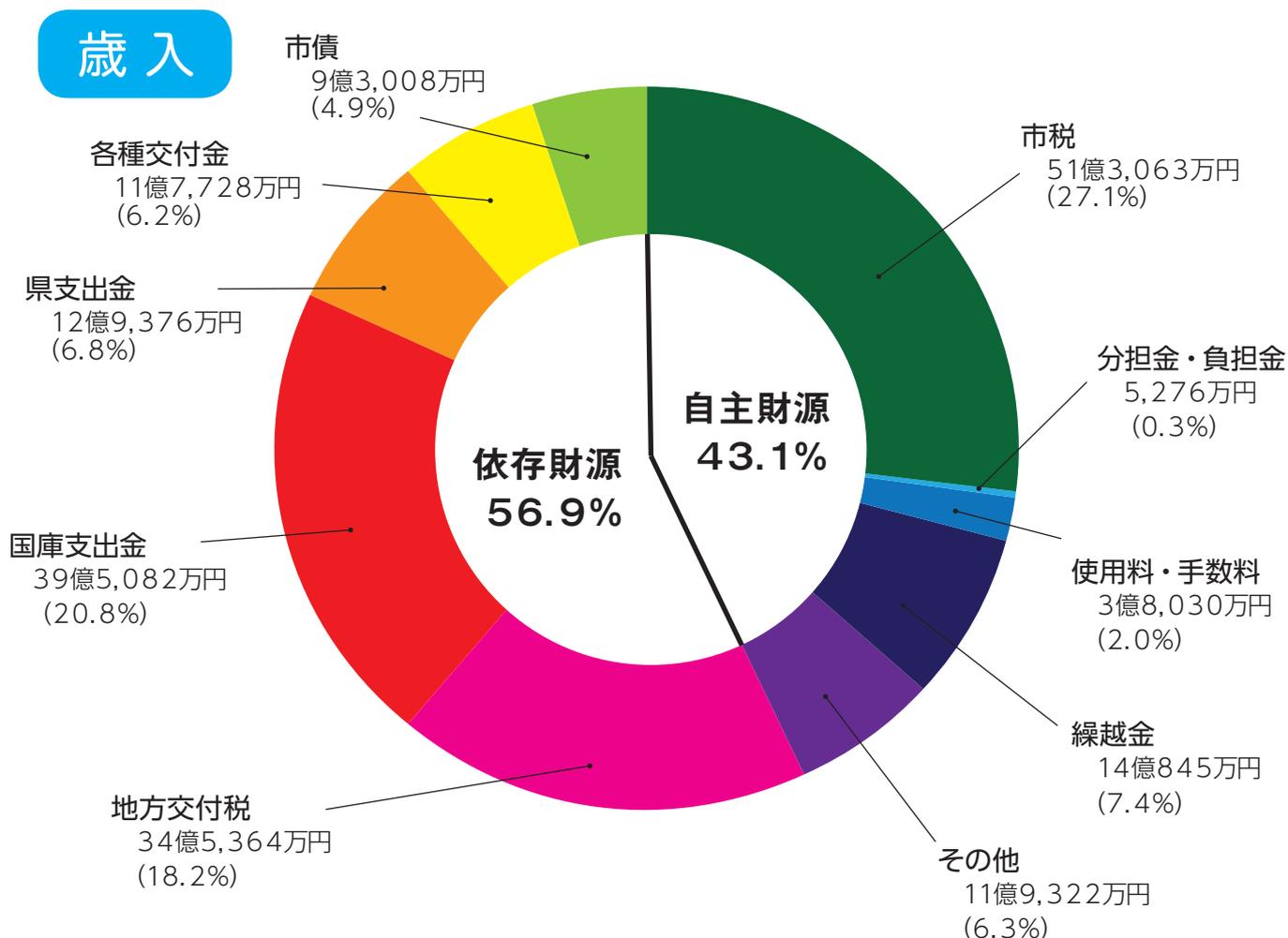
宮若市市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	1
宮若市一般会計決算	4
グラフで見る財政状況	6
第1章 自然環境 豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり	8
自然環境と地域景観の保全	
廃棄物処理とリサイクル対策の推進	
上水道の安定供給	
下水道等の整備	
治山・治水・砂防対策の充実	
第2章 生活基盤・都市基盤 安全・安心で便利な暮らしを確保する生活基盤・都市基盤づくり	9
計画的な土地利用の促進	
定住・住宅施策の推進	
道路・交通網・生活環境の整備	
公園・緑地の整備	
消防・防災・防犯・交通安全の充実	
第3章 産業 企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり	11
農林業の振興	
商業の振興	
企業誘致の推進	
観光の振興	
第4章 保健・福祉 市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、安心な暮らしを高める社会づくり	13
社会福祉の充実	
児童・母子福祉の充実	
高齢者福祉の充実	
障がい者福祉の充実	
健康づくりの推進	
医療の充実	
第5章 教育・文化 子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、多彩な市民交流を生む社会教育の充実	16
学校教育の充実	
生涯学習の推進	
スポーツの推進	
青少年の健全育成	
芸術文化活動の推進	
文化財の保護・継承	
第6章 市民協働・コミュニティ 市民とともに地域の課題解決に向けて取り組んでいく協働のまちづくり	18
市民参加の推進	
地域コミュニティの形成	
地域情報化の推進	
人権尊重社会の構築	
第7章 計画の推進と実現のために	19
資料 決算概要	20
ダイヤルガイド	24

令和4年度 宮若市一般会計決算

歳入 189億7,094万円

歳出 178億9,429万円

差引 10億7,665万円



自主財源 43.1% (前年度比 +9.4%)

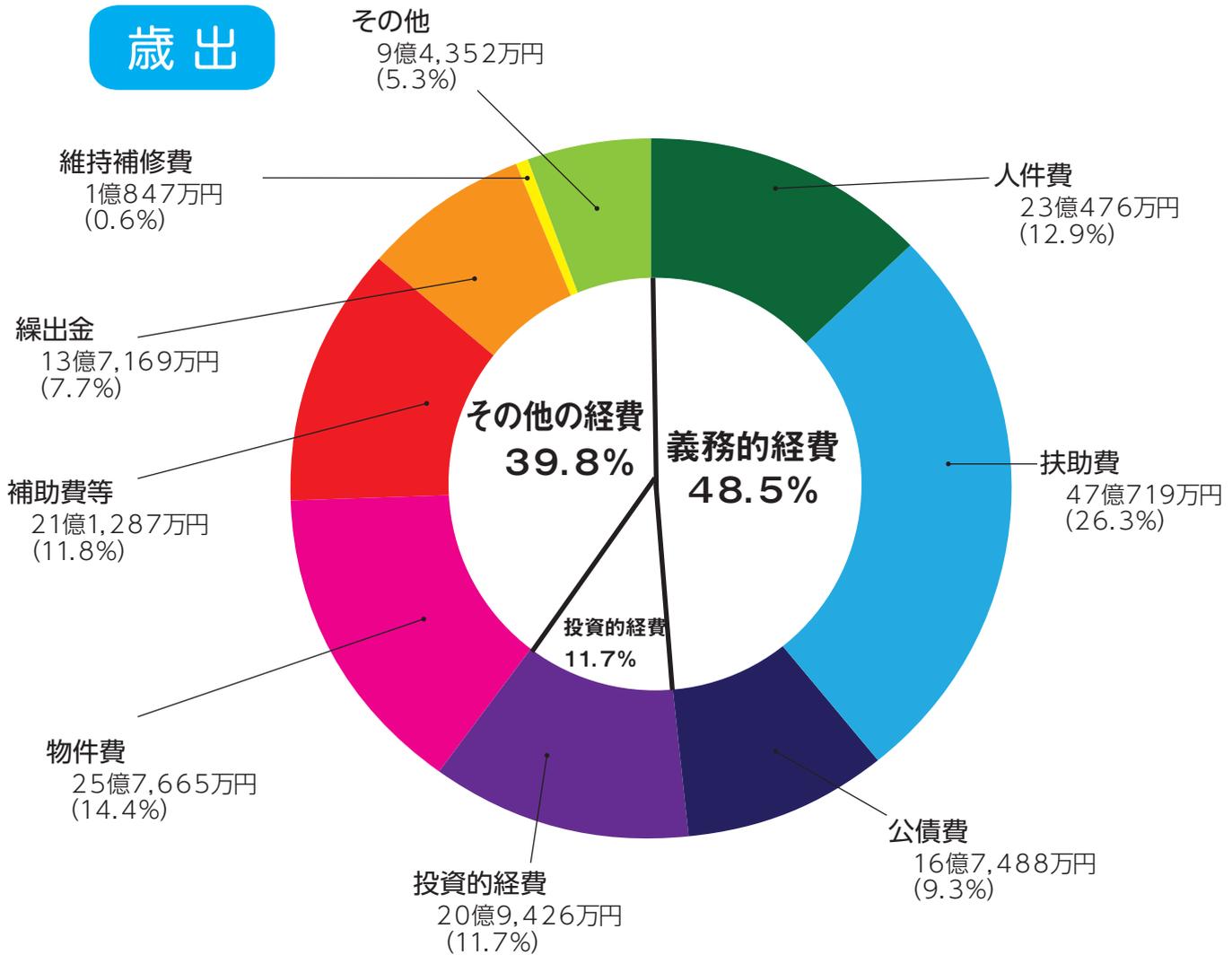
市が自主的に収入できるお金のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などのことです。この割合が高いほど財政が安定し、自主的な事業に取り組むことができます。

ふるさと納税が増加したことにより、その他の収入のうち寄附金が増加しています。

依存財源 56.9% (前年度比 -9.4%)

国や県から交付されるお金のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などのことです。光陵小学校の整備完了などにより、市債や国庫支出金が減少しています。

歳出



義務的経費 48.5% (前年度比 +6.3%)

市職員や議員などの人件費、児童・高齢者・生活困窮者などの支援に要する扶助費、市の借金の返済である公債費のことで、この割合が高いと財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。

新型コロナウイルス感染症対策として実施した子育て世帯への給付金が減少したことにより、扶助費が減少しています。

投資的経費 11.7% (前年度比 -15.8%)

道路や公共施設の整備、災害復旧などにかかるお金のことです。光陵小学校の整備が完了したことなどにより減少しています。

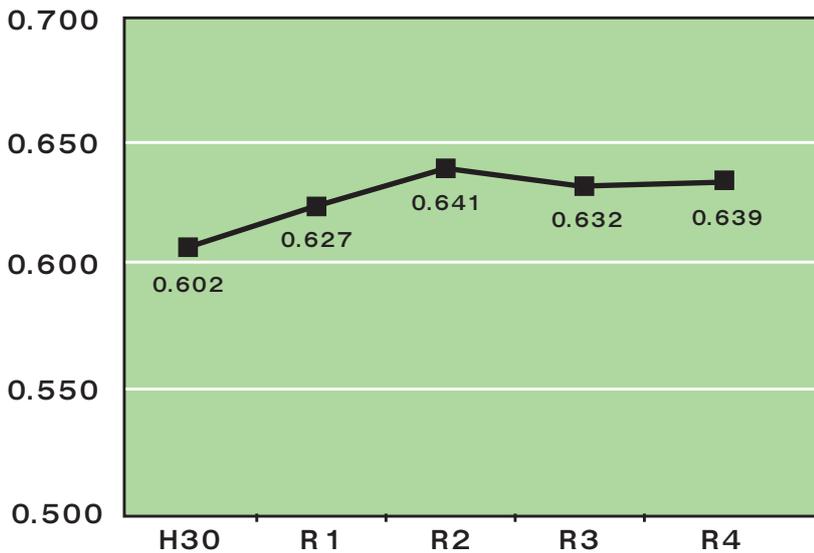
その他の経費 39.8% (前年度比 +9.5%)

施設の維持管理や委託料などの物件費、各種団体や消防署・介護保険広域連合などへの負担金、特別会計への繰出金などのことです。ふるさと納税の増加に伴い積立金が増加、エネルギー価格上昇に伴う電気使用料の高騰により物件費が増加しています。

グラフで見る財政状況

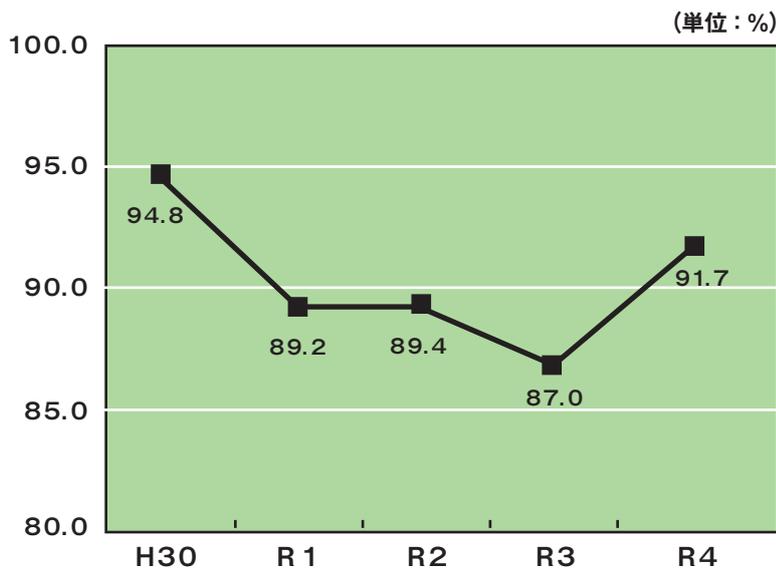
宮若市の財政指標をグラフで見てください。経年変化を追うことで市の財政が好転しているのか悪化しているのかを捉えることができます。

財政力指数



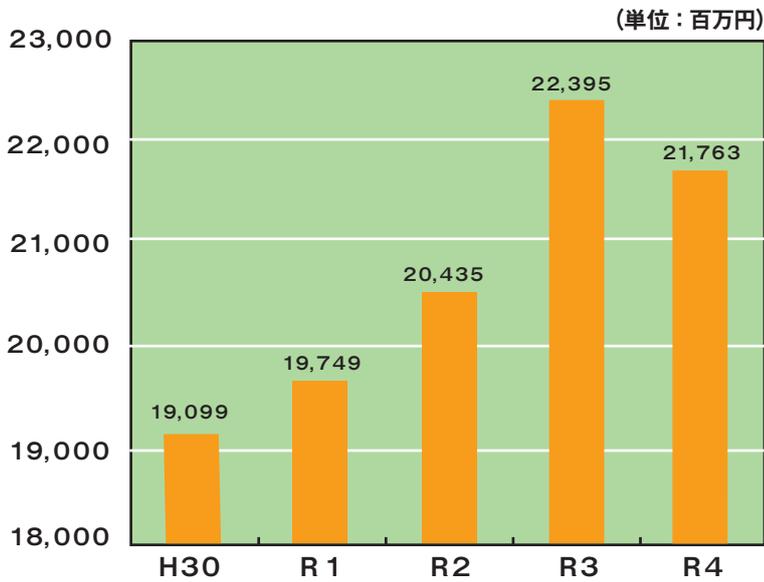
財政力指数は財政の自立性を測るもので、「1」に近づくほど財源に余裕があるといえます。企業の設備投資により、固定資産税が増加したため、高くなりました。

経常収支比率



経常収支比率は、財政構造の弾力性を表すもので、安定して収入される財源に占める固定的に支出される経費の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。普通交付税や市税が減少したため、高くなりました。

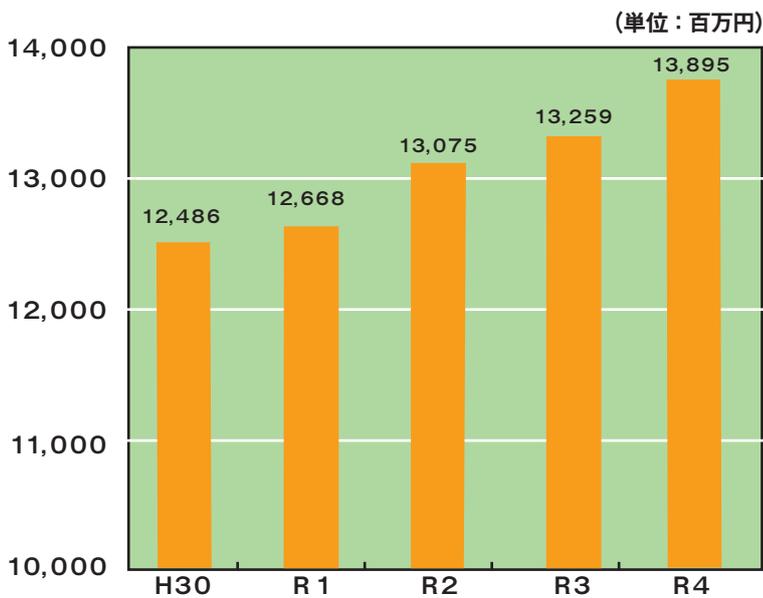
市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。

光陵小学校の整備が完了し、新たな借入れが減少したことにより、残高は減少しました。

基金残高



基金とは、市の貯金のことです。

経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金やその他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。

施設整備等基金などへの積み立てにより増加しています。

第1章

自然環境

豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり

自然環境と地域景観の保全

■ 不法投棄防止対策の推進（環境保全課）

160 万円

財源 市：160万円

不法投棄防止推進委員による監視体制の強化や不法投棄防止監視カメラ、看板の設置などにより、不法投棄の防止に努めました。

また、環境クリーン作戦や遠賀川流域河川一斉清掃の実施、自治会などが実施している環境美化運動の支援を行いました。



■ 空家等対策の推進（建築都市課）

795 万円

財源 国：395万円 市：400万円

空家等対策計画に基づき、空家化の予防や適切な管理などの啓発に努め、老朽化し危険性の高い空家の解体撤去費用を補助するなど、空家等対策を進めました。

■ 地球温暖化対策の推進（環境保全課）

223 万円

財源 その他：223万円

地球温暖化対策を推進するための指針として、令和4年度から令和5年度にかけて「第2次宮若市環境基本計画」（「第2次宮若市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を含む）を策定しています。また、温室効果ガスの排出削減に努め、2050年までに脱炭素社会を目指します。

廃棄物処理とリサイクル対策の推進

■ ごみの減量化・リサイクル活動の推進

(環境保全課)

1,020 万円

財源 その他：17万円 市：1,003万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、第2・4日曜日に市内2カ所で行っている資源物拠点回収を継続して実施しました。

また、ごみとして処理されている古紙などを有効活用するため、リサイクル活動登録団体へ奨励金を交付するとともに、ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器やダンボールコンポスト購入者への補助金の交付を行いました。

上水道の安定供給

■ 上水道の安定供給（水道課）

7,653 万円

財源 その他：119万円
市：7,534万円（うち市債：4,910万円）

老朽化による配水管の更新や浄水場施設の整備を継続的に進め、水道の安定供給に努めました。

下水道等の整備

■ 下水道等の整備（下水道課）

6億8,104 万円

財源 国：2億5,381万円 その他：2,210万円
市：4億513万円（うち市債：3億2,910万円）

福岡県が事業主体である遠賀川中流流域下水道事業の進捗状況に合わせて、詳細設計や調査などを行いながら、事業認可区域内の下水道管の整備促進を図りました。

また、遠賀川中流流域下水道事業では、広域的な汚水処理対策を図るため、福岡県と関連市町が連携を図りながら整備を促進しました。

■ 合併浄化槽整備事業（下水道課）

1,747 万円

財源 国：406万円 県：598万円 市：743万円

汚水処理施設構想に基づき、公共下水道整備区域以外での浄化槽の設置を推進しました。

また、単独浄化槽や汲み取り便槽からの転換を行う方に補助を行うことで、さらなる合併浄化槽の設置促進を図りました。

治山・治水・砂防対策の充実

■ 森林環境の整備（農政課）

4,969 万円

財源 県：3,316万円 その他：1,549万円
市：104万円

水源のかん養、土砂災害防止など森林の有する公益的機能を高めるため、荒廃森林整備に取り組みました。また、犬鳴山系関係自治体と連携し、シカの誘引捕獲事業に補助を行うことで森林被害を防ぐ取組を行いました。

■ 砂防対策の充実（土木建設課）

2,579 万円

財源 県：1,150万円
市：1,429万円（うち市債：1,270万円）

福岡県の補助事業である急傾斜地崩壊対策事業により、宮日田地区(金生)の整備を進めました。

■ 河川・水路などの環境整備

（土木建設課）

1億8,634 万円

財源 国：3,445万円
市：1億5,189万円（うち市債：1億5,080万円）

大雨時、慢性的に冠水している鶴田地区の内水対策のため、排水施設の整備を進め、災害の発生予防・拡大予防に努めました。

また、防災重点農業用ため池の劣化状況調査を行うとともに、地震や豪雨による被害を防ぐため、ため池廃止工事やため池の浚渫を行いました。

第2章

生活基盤・都市基盤

安全・安心で便利な暮らしを確保する
生活基盤・都市基盤づくり

計画的な土地利用の促進

■ 国土調査の実施（土地対策課）

1億111 万円

財源 国：4,486万円 県：2,243万円
市：3,382万円

個人の権利や財産を尊重し、国土の開発、保全、利用の円滑化を図るため、令和4年度は、長井鶴・山口地区の各一部の地籍簿、地籍図の作成と長井鶴・宮田・山口地区の各一部の一筆地調査、測量調査を行いました。

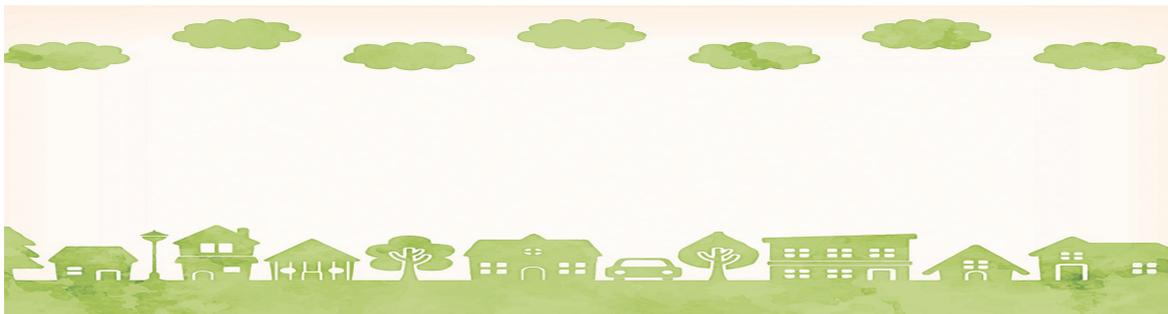
定住・住宅施策の推進

■ 定住促進事業（まちづくり推進課）

9,354 万円

財源 国：1,851万円
市：7,503万円

市内に住宅を取得した方に固定資産税相当額の奨励金を、市内民間賃貸住宅に居住する新婚・子育て世帯に家賃の一部を補助しました。また、これらの制度をイベントやホームページ、SNSなどでPRし定住促進に取り組みました。



■ 市営住宅の保全管理 (建築都市課)

4,994 万円

財源 国：2,178万円 県：25万円
その他：2,791万円

市営住宅長寿命化計画に基づき、管理戸数の適正化を図るため、老朽化の著しい空家となった市営住宅の解体工事を実施しました。

また、市民が快適に住み続けられることや、市民の消費を促し地域経済の活性化を図るため、個人住宅や地区公民館を対象に住宅等改修補助金制度を継続して実施するとともに、通学路などを対象としたブロック塀等撤去費補助金制度を実施することで、安全・安心な環境整備を推進しました。

道路・交通網・生活環境の整備

■ 幹線道路の整備 (土木建設課)

3億9,189 万円

財源 国：1億3,863万円
市：2億5,326万円 (うち市債：1億7,050万円)

幹線道路・交通網の環境整備は、周辺地域と連携して舗装改修や歩道などの整備を計画的に進め、利便性や安全性の向上に努めました。

■ 生活道路の整備 (土木建設課)

1億9,861 万円

財源 国：874万円
市：1億8,987万円 (うち市債：5,190万円)

日常生活で利用する生活道路の維持に努めるとともに、経年劣化した道路の舗装整備を行い長寿命化を図りました。また、社会資本整備総合交付金を活用し、前平田・和田線、福丸・湯原線にグリーンベルトを設置し、歩行者の安全通行の確保に努めました。

■ 市民と協働した道路環境の保全

(土木建設課)

593 万円

財源 市：593万円

市民と行政の協働による良好な道路環境の保全推進を目的とした道路愛護推進活動について、積極的に周知を行うことで活動団体の増加に努めました。

■ 利便性の高い公共交通手段の確保

(産業観光課)

1億455 万円

財源 国：1,796万円 県：679万円
その他：549万円
市：7,431万円 (うち市債190万円)

現行バス路線の存続を基本に、生活交通手段の確保に向け、運行の形態やルートの見直しを引き続き行うとともに、AI デマンドタクシーの運行を進めました。

また、令和5年度中の宮田バス停交流スペースの建設に向けて、基本設計を策定しました。

公園・緑地の整備

■ 協働による公園の管理・活用の推進

(まちづくり推進課・土木建設課)

1,752 万円

財源 その他：236万円 市：1,516万円

犬鳴川河川公園や2000年公園、さくら堤公園は、市民団体や企業等との協働による管理を行うとともに、イベントの開催などを通じて、市民の交流の場となる愛着ある公園づくりに取り組みました。

消防・防災・防犯・交通安全の充実

■ 防災意識の醸成と体制の強化 (総務課)

1,247 万円

財源 国：432万円 市：815万円

自助・共助・公助の理念に基づいた地域防災力の向上に向け、防災マップを改訂し、全戸へ配布を行うとともに自主防災組織の設立・育成に取り組みました。

また、防災行政無線のバッテリーなどの消耗品の更新などを行い、併せて、緊急速報メールなどの多様な情報伝達手段を有効に活用するなどし、迅速で的確な情報伝達手段の維持に努めました。



■ 消防団の充実（総務課）

2,482 万円

財源 市：2,482万円（うち市債2,380万円）

地域の防災の要となる消防団については、消防団員の加入促進を図るとともに、消防設備の充実に努めました。令和4年度は消防ポンプ自動車を1台購入しました。

■ 犯罪を防止する環境整備（総務課）

156 万円

財源 市：156万円

自治会などによる防犯灯の設置や取替えを支援することで、犯罪を防止する環境整備を進めました。

■ 交通安全意識の向上（健康福祉課）

111万円

財源 その他：111万円

高齢運転者の安全運転意識の向上や、交通事故の防止、被害の軽減を図るため、安全装置搭載自動車を購入した方へ補助金の交付を行いました。

**第3章****産業**

企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり

農林業の振興**■ 有害鳥獣被害対策の推進**（農政課）

709 万円

財源 国：1万円 市：708万円

深刻化する農作物などへの鳥獣被害に対応するため、駆除数の増加を図るための補助制度や猟友会などと連携した駆除活動を強化するとともに、電気牧柵などの設置・補助を行うことで、被害防除に取り組みました。

■ 農産物・特産品の販路拡大（農政課）

322 万円

財源 その他：282万円 市：40万円

宮若うまい米コンクールを引き続き実施するとともに、宮若オリジナル米袋を活用することで、宮若産米の効果的なPRや販路の拡大に努めました。また、令和4年度は、九州のお米食味コンクールを本市で開催し、宮若米にとどまらず、九州米の知名度の向上にも取り組みました。

■ 多面的機能支払交付金（農政課）

3,314 万円

財源 国：1,662万円 県：828万円 市：824万円

農業や農村は、自然環境の保全や水源のかん養、良好な景観の形成など多面的機能を有していますが、過疎化・高齢化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

このため、地域の共同活動に支援を行うことで、農用地や水路、農道、ため池などの地域資源の適切な保全管理を推進しました。

■ 就農者の育成支援（農政課）

3,900 万円

財源 県：3,780万円 市：120万円

水田・園芸農業の生産コスト低減、生産規模の拡大に取り組む認定農業者・営農組織に対して、農業用機械などの導入事業を推進しました。また、新規就農者の経営確立を支援するとともに、営農技術の向上等に取り組む認定農業者連絡協議会の活動を支援しました。

■ 小規模農地などへの支援 (土木建設課)

16 万円

財源 市：16万円

面積が狭小、湧き水による湿田化など、耕作不利農地の条件改善のために農家を実施する対象事業を補助することで、増加する耕作放棄地の発生防止に向けた取組を推進しました。

商業の振興

■ 生活利便性の向上 (産業観光課)

3,170 万円

財源 国：3,100万円 市：70万円

買物利便性の向上のため、車両による移動販売事業に取り組みました。

また、宮若商工会議所・若宮商工会が実施するプレミアム付振興券発行事業を支援しました。

■ 特産品の開発・販路開拓の推進

(産業観光課)

290 万円

財源 市：290万円

特産品や農産物の販路開拓や宮若ブランドの確立を図るため、商業者と認定農業者などで組織する宮若じまん振興会の支援を通じて、販路拡大や普及促進を図りました。



■ 新規創業に対する支援 (産業観光課)

200 万円

財源 市：200万円

地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、事業所の開設に係る資金の一部や融資に係る利子の一部を補助することで、創業を促進しました。

企業誘致の推進

■ 企業誘致の推進 (まちづくり推進課)

1億7,110 万円

財源 市：1億7,110万円

自動車関連企業など複数の企業が進出し、市内の工場用地が不足していることから、工場用地バンクの充実に努めるとともに、福岡県と連携し、宮若北部工業用地造成事業の早期完成に向けて取り組みました。また、引き続き、各種優遇制度を活用して、企業誘致の推進を図りました。

観光の振興

■ 資源を活かした着地型観光の推進

(産業観光課)

346 万円

財源 その他：346万円

市のイメージアップを図るため、特産品かつイメージキャラクターでもある追い出し猫を観光物産展などのイベントで積極的に活用して、特産品や観光資源のPRを行いました。

また、Webサイト宮若なびや観光パンフレットなどにより市の魅力を発信するとともに、民間事業者と連携し、入込客や交流人口の拡大を図りました。

■ 直方・鞍手広域連携プロジェクト

(秘書政策課)

63 万円

財源 市：63万円

直方・鞍手地域の広域連携による一体的な地域振興を図るため、福岡県と直鞍2市2町でプロジェクトに取り組みました。ものづくりなどの体験交流型プログラムや中高生を対象とした人材育成事業を通して、圏域の魅力を発信しました。



第4章 保健・福祉

市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、
安心な暮らしを高める社会づくり

社会福祉の充実

■ 相談体制の充実 (保護人権課)

2,054 万円

財源 国：1,355万円 県：339万円 市：360万円

生活保護制度に精通した面接相談員を配置し、要保護者からの生活相談に対する指導・助言や生活保護の申請手続きなどの支援を行い、生活保護行政の適正化に努めました。

また、生活困窮者相談支援体制については、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮される方への支援強化のため自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援の三事業の相談体制を整え、生活困窮者の自立のための包括的な支援を継続して行いました。

■ 社会福祉協議会の活動支援

(子育て福祉課)

5,803 万円

財源 市：5,803万円

社会福祉協議会が実施している地域福祉推進事業、ボランティア活動推進事業、各種相談事業、高齢者・障がい者(児)支援事業など、福祉事業活動の拡充を支援しました。

■ 民生委員・児童委員の活動支援

(子育て福祉課)

221 万円

財源 市：221万円

市民の生活上の相談や高齢者・子どもの見守りなど、身近な地域福祉活動の中心的な役割を担う民生委員・児童委員の活動を支援しました。



児童・母子福祉の充実

■ 多子世帯への支援 (子育て福祉課)

341 万円

財源 その他：341万円

多子世帯への支援として、保育所や認定こども園、学童保育所の利用者負担額の減免や、届出保育施設の利用者負担額の補助を行いました。

■ 子育て支援センターの充実

(子育て福祉課)

6,143 万円

財源 国：1,103万円 県：1,103万円
その他：334万円 市：3,603万円



令和3年度に、地域における子育て支援の拠点として、子育て支援センター「たけんこ」と「さくらんぼ」を整備しました。充実した施設で子育ての負担や孤独感の軽減が図れるよう、一時預かり事業や子育て相談などを行いました。

■ 保育サービスの実施 (子育て福祉課)

6億5,552 万円

財源 国：3億3,195万円 県：1億3,556万円
その他：2,796万円 市：1億6,005万円

保育所や認定こども園での通常・延長保育などの保育サービスを実施するとともに、幼稚園における預かり保育などの利用にかかる支援を行いました。

また、保育所や認定こども園に対し、特別保育のための加配職員の雇用や、新型コロナウイルス感染症対策経費に補助を行いました。

さらに、給食材料費や電気料金等の値上がりに対する支援を行いました。

■ 産後ケアの推進 (健康福祉課)

8 万円

財源 国：4万円 市：4万円

産後間もない時期の育児に関する悩みや不安の軽減のため、母親と育児の心身面のケアや育児のサポートを行い、安心して育児ができる支援体制を整えました。

■ 学童保育所の運営（子育て福祉課）

9,926 万円

財源 国：3,151万円 県：2,665万円
その他：1,022万円 市：3,088万円

社会福祉協議会と連携し、学童保育所の安定的な運営に努めました。



■ 待機児童解消に向けた取組

（子育て福祉課）

2,094 万円

財源 国：150万円 県：1,394万円
その他：493万円 市：57万円

待機児童を解消する取組として、保育士確保のための就労支援給付金制度と家賃補助制度を実施しました。そのほか、保育士の負担を軽減するため、保育所や認定こども園に保育補助者の雇用やICT化推進にかかる経費などへの補助を行うとともに、企業主導型保育施設を利用しやすいよう、利用者負担額への補助を行いました。

さらに、子育て支援センターにおいて、認可保育施設に近い開所時間で児童を預かるための枠を確保し、待機児童の解消に努めました。

■ 不妊治療への支援（健康福祉課）

124 万円

財源 その他：124万円

令和4年4月から不妊治療が保険適用となったため、保険適用開始前に治療を開始し、令和4年度中に治療が終わった方について、費用の一部助成を実施しました。

高齢者福祉の充実

■ 介護予防活動の推進（健康福祉課）

5,105 万円

財源 その他：4,489万円 市：616万円

介護予防教室や居場所づくりなどの介護予防事業を通して、要介護状態などの予防や軽減、悪化の防止のための支援に努めました。



■ 地域包括ケア体制の確立

（健康福祉課）

5,146 万円

財源 その他：5,134万円 市：12万円

団塊の世代が75歳以上となる令和7年を目処に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの充実を図るため、生活支援サービスの体制整備や在宅医療・介護連携、認知症施策、地域ケア会議の推進などに取り組みました。

障がい者福祉の充実

■ チャレンジ雇用の実施（総務課）

130 万円

財源 市：130万円

障がいのある人が民間企業へ就職するための経験を積む機会としてチャレンジ雇用を実施し、民間企業への円滑な就職を支援しました。

障がい福祉サービスの提供

(子育て福祉課)

12億2,525万円

財源 国：5億9,120万円 県：2億9,293万円
その他：1,053万円 市：3億3,059万円

障がいのある人が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、生活環境の整備や相談・支援体制の充実強化に努めるとともに、各種障がい福祉サービスの提供を行いました。

また、ろう者と健常者がお互いの人格と個性を尊重しあえる社会の実現を目指すため、手話言語条例を制定しました。

健康づくりの推進

総合健診の実施 (健康福祉課)

2,147万円

財源 国：21万円 県：38万円 市：2,088万円

生活習慣病の早期発見のため、受診勧奨により総合健診の受診率向上に努めました。

〈実施内容〉

- ・健康診断
 - ・歯科健診
 - ・骨粗鬆症検診
 - ・肝炎ウイルス検査
 - ・がん検診
- (胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん)



予防接種の実施 (健康福祉課)

6,836万円

財源 国：74万円 市：6,762万円

感染症予防のため、予防接種法に基づく定期予防接種の実施とともに、高齢者肺炎球菌・風しんの任意予防接種について助成を行いました。



新型コロナウイルス感染症対策

(総務課・管財課・市民課・保護人權課・

子育て福祉課・健康福祉課・産業観光課・

秘書政策課・教育総務課・学校教育課・社会教育課)

9億8,880万円

財源 国：9億5,696万円 県：405万円
市：2,779万円

新型コロナウイルス感染症の蔓延を防ぐため、国が定める優先順位に基づいた予防接種を行うとともに、感染拡大防止や感染への不安解消のため感染対策備品の購入などについて助成を行いました。また、新型コロナウイルス感染症収束を見据えた新しい生活様式に沿った事業の推進、公共施設のトイレ洋式化など、引き続き感染拡大防止を図りました。

その他、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた方の負担を軽減するための支援も行いました。



みやわか健康ポイント事業

(健康福祉課)

125万円

財源 市：125万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業に参加することでポイントを獲得し、ポイント数に応じて応募者全員に記念品を贈呈しました。

医療の充実

医療費適正化対策 (市民課)

5万円

財源 県：2万円 市：3万円

宮若市の国民健康保険財政の健全化に向けた取組の一つとして、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用による医療費減額通知の送付を通じて、先発医薬品と同等であるジェネリック医薬品の使用を促進することで、医療費の適正化を図りました。

■ 特定健診・特定保健指導

(市民課・健康福祉課)

2,183 万円

財源 県：1,327万円 市：856万円

特定健診は内臓脂肪型肥満に着目した健康検査であり、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に該当する人などを対象に生活指導などを行い、生活習慣病を予防することを目的としています。

また、医療機関と連携を図り受診率の向上に努めるとともに、健診の結果が生活習慣病の予備軍や要受診者となる人を対象に、保健師・管理栄養士による受診指導、生活改善指導を実施することで、疾病の発症・悪化の防止に努めました。



第5章 教育・文化

子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、多彩な市民交流を生む社会教育の充実

学校教育の充実

■ 確かな学力の育成 (学校教育課)

2,099 万円

財源 国：214万円 市：1,885万円

幼稚園・小中学校が同じ目標に向かって共通の取組を推進しながら、子どもたちの生活習慣、学校教育の基盤づくりと学力向上プロジェクトE事業を中心に様々な事業を実施しました。また、放課後学習「みやわかアフタースクール」を全小中学校で実施し、子どもたちの学習支援を行いました。

さらに、教員の資質向上のための研修会「みやわか教師塾」の開催や、学力実態調査・体力実態調査の実施、トヨタ自動車九州株式会社の協力を得て、サイエンススクールを継続して実施しました。

■ 情報教育の推進 (学校教育課)

6,198 万円

財源 国：185万円 市：6,013万円

国のGIGAスクール構想に伴い整備したICT機器を活用した教育効果をさらに高めるため、ICT支援員を配置し、教職員のICT活用指導力の向上と学習支援ソフトを導入して学習の個別最適化を図り、学習指導要領に定める情報活用能力の育成に努めました。

■ 特別支援教育の充実

(学校教育課)

2,196 万円

財源 市：2,196万円

小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒や通常学級に在籍している発達障がいがある児童生徒など、特別な支援が必要な子どもたちに適切な教育的支援を行うために、特別支援教育支援員の配置を行い、特別支援学級などの教育活動の充実を図りました。

また、特別に支援を必要とする児童生徒の就学などについては、発達障がい相談支援カウンセラーによる助言や特別支援教育連携協議会の中で関係機関との情報交換を行い、円滑に連携しながら、当該児童生徒にとって適切な教育支援を行いました。

■ 地元農産物を活用した学校給食の提供 (教育総務課)

250 万円

財源 その他：250万円

宮若米や宮若牛など、新鮮で安全な地元農産物や畜産物を積極的に学校給食に導入することで、地産地消に取り組みました。



■ 教育施設の整備 (教育総務課)

9,415 万円

財源 国：2,491万円
市：6,924万円 (うち市債：4,410万円)

老朽化した宮田北小学校のプールの改修工事と、校舎及び体育館の外壁等の補修に伴う設計を行いました。

生涯学習の推進

■ 読書活動の充実 (社会教育課)

1,455 万円

財源 県：10万円 その他：150万円
市：1,295万円

ふるさと納税を活用して児童書を増やし、おはなし会・ブックスタート・家読など、児童書を活用した事業を充実させることで、幼少期の子どもの読書活動を推進しました。

スポーツの推進

■ スポーツイベントを通じた市民参加の拡大 (社会教育課)

284 万円

財源 市：284 万円

スポーツフェスタなど、幅広い世代の市民が参加できるスポーツ種目によるイベントを実施し、スポーツ活動を通じた市民交流の充実に努めました。



■ スポーツ大会・キャンプ地の誘致

(社会教育課)

8 万円

財源 市：8万円

光陵グリーンパークや西鞍の丘総合運動公園と市内宿泊施設との連携を図り、広域的なスポーツ大会やキャンプ地として誘致に取り組みました。

青少年の健全育成

■ 体験学習の充実 (社会教育課)

70 万円

財源 市：70万円

小学生が様々な活動を体験することで、自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性など、生きる力を育むことを目的として、わいわいサークルやサマーチャレンジ、スプリングチャレンジを開催しました。

芸術文化活動の充実

■ 芸術文化活動の推進 (社会教育課)

136 万円

財源 市：136万円

市民文化祭やコンサートなどを開催し、市民が芸術文化に触れる機会の提供に努め、芸術文化活動の活性化を図りました。

文化財の保護・継承

■ 文化財の整備・保存の推進

(社会教育課)

4,485 万円

財源 市：4,485万円 (うち市債：3,900万円)

国指定史跡である竹原古墳の保存管理に引き続き努め、シンポジウムも開催しました。

また、令和3年度に整備を行った文化財収蔵・展示・交流センターについては長寿命化を図るため外壁補修等改修工事などを行い、市内の小中学生の学習の場として有効活用を図ると共に、各種イベントを開催し、歴史文化への興味関心の向上に努めました。



第6章

市民協働・コミュニティ

市民とともに地域の課題解決に向けて
取り組んでいく協働のまちづくり

市民参加の推進

■ 広報・広聴の充実 (秘書政策課)

2,087 万円

財源 県：52万円 その他：336万円
市：1,699万円

市民参加の推進や認知度向上のため、本市の魅力を市内外に向けて広く発信できるよう、広報紙や市公式ホームページ、公式インスタグラムをはじめとしたSNSなど様々な媒体を活用した多角的で効果的な情報発信を行いました。

また、市の概要や、まちの魅力をわかりやすくまとめた市勢要覧を改訂しました。

地域コミュニティの形成

■ コミュニティ活動の活性化

(まちづくり推進課)

85 万円

財源 市：85万円

職員の地域担当制度については、コロナ禍の中、4つのブロックで活動が行われ、地域住民と市職員が協働して活性化に取り組みました。

■ 笠松地区地域コミュニティ拠点施設の整備 (社会教育課)

671 万円

財源 市：671万円 (うち市債：600万円)

笠松地区の地域コミュニティ拠点施設である笠松研修センターについては、老朽化が生じており、令和3年度に施設の総点検及び住民参加型による整備に向けた基本計画を策定しました。令和4年度はこの計画に基づき、施設の改修工事に係る設計に取り組みました。



地域情報化の推進

■ デジタル田園都市国家構想の推進

(総務課)

3,626 万円

財源 国：3,263万円 市：363万円

国の「デジタル田園都市国家構想」を受け、電子申請システム導入などデジタル技術を活用することで、市民サービスの向上に取り組みました。



■ マイナンバーカードの交付推進

(市民課)

1,461 万円

財源 国：1,461万円

マイナンバーカードを交付申請した市民の方に申請啓発物品として市指定ゴミ袋を配布し、普及率の向上を図りました。

人権尊重社会の構築

■ 人権教育・啓発の促進

(社会教育課・保護人権課)

36 万円

財源 県：16万円 市：20万円

令和3年度に策定した人権教育・啓発基本計画に基づいて、人権講演会や地域懇談会、人権の花運動などを実施し、身近な差別に気づき、お互いの人権が尊重される地域づくりを推進しました。

第7章

計画の推進と実現のために

■ 輝くふるさと応援寄附金制度の推進

(産業観光課)

1億6,036 万円

財源 その他：1億4,259万円 市：1,777万円

令和4年度は、宮若市のまちづくりに賛同する方からの「ふるさと納税」により3億6,963万円の寄附をいただきました。それらを活用して、特色あるまちづくりを進めました。また、返礼品を通じた特産品の販路拡大につなげるため、ポータルサイトの拡充に取り組むなど、積極的に寄付の拡大を図りました。



■ 固定資産（土地）評価の価格見直し等に伴う標準宅地の不動産鑑定評価委託業務

(税務収納課)

1,437 万円

財源 市：1,437万円

地価の下落を次年度の固定資産評価額に反映させるため、7月1日時点における標準宅地の時点修正率を鑑定評価により求めることで、市内全域の宅地などの価格修正を行いました。

また、令和6年度固定資産評価替えにおいて活用する土地の適正な時価を求める不動産鑑定評価業務を行いました。

■ 地番現況図などの更新 (税務収納課)

1,645 万円

財源 市：1,645万円

課税対象物件の的確な把握による適正な課税を図るため、地番現況図や公図の通年異動更新を行い、令和6年度評価替えに向けて土地評価見直し業務を行いました。

■ 第2次宮若市総合計画（後期基本計画）の策定 (秘書政策課)

661 万円

財源 市：661万円

第2次宮若市総合計画は、宮若市が目指すまちづくりの指針を示した令和9年度までの10年間のマスタープランで、前期と後期の各5年間に分けて施策を推進しています。

令和4年度は、令和5年度からの後期基本計画を策定しました。



■ 収納率の向上及び滞納対策の強化

(税務収納課)

110 万円

財源 市：110万円

収納率向上のためファイナンシャルプランナーによる多重債務者のための過払い利息分の返還請求など、家計改善指導に取り組みました。

また、亡くなった滞納者が所有する財産を処分するため、相続財産管理人選任業務を委託し、選任された相続財産管理人による財産の処分の手続きを行いました。



資料. 決算概要

一般会計

歳入総額	189億7,094万円
歳出総額	178億9,429万円
差引残額	10億7,665万円

歳入

款	決算額
1 市税	51億3,063万円
2 地方譲与税	1億7,492万円
3 利子割交付金	73万円
4 配当割交付金	1,181万円
5 株式等譲渡所得割交付金	979万円
6 法人事業税交付金	1億3,756万円
7 地方消費税交付金	7億3,603万円
8 ゴルフ場利用税交付金	5,142万円
9 環境性能割交付金	2,411万円
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	136万円
11 地方特例交付金	2,476万円
12 地方交付税	34億5,364万円
13 交通安全対策特別交付金	479万円
14 分担金及び負担金	5,276万円
15 使用料及び手数料	3億8,030万円
16 国庫支出金	39億5,082万円
17 県支出金	12億9,376万円
18 財産収入	1億2,069万円
19 寄附金	3億7,864万円
20 繰入金	2億8,750万円
21 繰越金	14億845万円
22 諸収入	4億639万円
23 市債	9億3,008万円

歳出

目的別

款	決算額
1 議会費	1億4,810万円
2 総務費	25億9,021万円
3 民生費	69億8,652万円
4 衛生費	12億941万円
6 農林水産業費	8億2,612万円
7 商工費	6億2,252万円
8 土木費	15億3,574万円
9 消防費	5億622万円
10 教育費	16億9,599万円
11 災害復旧費	9,858万円
12 公債費	16億7,488万円

性質別

区分	決算額
人件費	23億476万円
扶助費	47億719万円
公債費	16億7,488万円
物件費	25億7,665万円
維持補修費	1億847万円
補助費等	21億1,287万円
繰出金	13億7,169万円
積立金	9億2,352万円
投資及び出資金・貸付金	2,000万円
投資の経費	20億9,426万円

国民健康保険特別会計

歳入総額	33億6,109万円
歳出総額	33億1,025万円
差引残額	5,084万円

歳入

款	決算額
1 国民健康保険税	5億3,065万円
4 使用料及び手数料	40万円
6 県支出金	24億6,598万円
10 繰入金	2億8,468万円
11 繰越金	7,171万円
12 諸収入	767万円

歳出

款	決算額
1 総務費	8,176万円
2 保険給付費	23億1,860万円
3 国民健康保険事業費納付金	7億3,808万円
4 共同事業拠出金	1万円
6 保健事業費	2,229万円
9 諸支出金	1億4,951万円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額	4億7,202万円
歳出総額	4億6,000万円
差引残額	1,202万円

歳入

款	決算額
1 後期高齢者医療保険料	3億1,889万円
2 使用料及び手数料	5万円
3 繰入金	1億3,768万円
4 繰越金	1,298万円
5 諸収入	242万円

歳出

款	決算額
1 総務費	749万円
2 後期高齢者医療広域連合納付金	4億5,184万円
3 諸支出金	3万円
4 保健事業費	64万円

吉川財産区特別会計

歳入総額	107万円
歳出総額	92万円
差引残額	15万円

歳入

款	決算額
1 財産収入	6万円
2 繰入金	90万円
3 繰越金	11万円

歳出

款	決算額
1 総務費	70万円
2 財産費	22万円

水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収入		5億365万円
区分	決算額	
給水収益	4億739万円	
受託工事収益	622万円	
その他の営業収益	32万円	
負担金	1,847万円	
他会計補助金	22万円	
水道加入金	363万円	
長期前受金戻入	6,291万円	
雑収益	53万円	
特別利益	396万円	

支出		4億6,122万円
区分	決算額	
原水及び浄水費	1億1,249万円	
配水及び給水費	6,505万円	
受託工事費	621万円	
総係費	4,055万円	
減価償却費	1億9,141万円	
資産減耗費	206万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	2,215万円	
消費税及び地方消費税	1,675万円	
特別損失	455万円	

(2) 資本的収入及び支出

収入		5,029万円
区分	決算額	
企業債	4,910万円	
負担金	119万円	

支出		2億2,455万円
区分	決算額	
施設改良費	7,682万円	
固定資産購入費	706万円	
企業債償還金	1億4,067万円	

簡易水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収入		1億8,185万円
款	決算額	
給水収益	5,094万円	
受託工事収益	6,462万円	
その他の営業収益	8万円	
負担金	818万円	
他会計補助金	2,454万円	
水道加入金	231万円	
長期前受金戻入	3,111万円	
特別利益	7万円	

支出		1億6,975万円
款	決算額	
原水及び浄水費	1,492万円	
配水及び給水費	158万円	
受託工事費	5,886万円	
総係費	3,559万円	
減価償却費	5,174万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	560万円	
消費税及び地方消費税	145万円	
特別損失	1万円	

(2) 資本的収入及び支出

収入		3,044万円
区分	決算額	
他会計補助金	2,846万円	
負担金	198万円	

支出		5,666万円
区分	決算額	
建設改良費	907万円	
企業債償還金	4,759万円	

下水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収入		4億782万円
区分	決算額	
下水道使用料	5,466万円	
雨水処理負担金	778万円	
その他の営業収益	23万円	
他会計負担金	1億4,057万円	
他会計補助金	7,261万円	
補助金	100万円	
長期前受金戻入	1億450万円	
消費税還付金	2,645万円	
雑収益	2万円	

支出		3億8,096万円
区分	決算額	
管渠費	245万円	
ポンプ場費	479万円	
業務費	107万円	
総係費	4,272万円	
流域下水道維持管理負担金	8,307万円	
減価償却費	1億9,907万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	4,779万円	

(2) 資本的収入及び支出

収入		7億405万円
区分	決算額	
企業債	3億2,910万円	
国庫補助金	2億5,381万円	
負担金及び分担金	2,210万円	
他会計負担金	2,947万円	
他会計補助金	6,957万円	

支出		8億2,768万円
区分	決算額	
建設改良費	6億8,103万円	
企業債償還金	1億4,665万円	

宮若市役所 ダイアルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課名	係名	業務内容	電話番号
総務課	総務係	議案、条例・規則等の制定改廃、文書管理、情報公開、個人情報保護など	32-0511
	人事係	職員の人事、給与、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、組織管理など	
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	32-1072
	情報政策係	電算システムの開発管理、セキュリティ対策、ICTの利活用など	
管財課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	32-0761
	契約検査係	契約、請負業者の指名・入札など	
市民課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録、選挙管理委員会など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、公費医療など	32-4004
税務収納課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地・家屋・償却資産の評価、固定資産税の賦課など	
	納税管理係	市税・国民健康保険税の徴収・滞納対策、市税等諸証明の交付など	32-1008
秘書政策課	秘書広報係	秘書、広報、シティプロモーション、ホームページ、表彰など	32-0512
	政策推進係	総合計画、総合戦略、広域行政、人材育成、国際交流など	
財政課	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、行財政改革、地方交付税、市債など	32-0590
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園・2000年公園管理など	32-0773
	企業誘致推進係	企業誘致など	
子育て福祉課	地域福祉係	民生・児童委員、社会福祉協議会、地域福祉計画、戦傷病者遺族等援護など	32-0562
	子育て支援係	児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談、保育所、学童保育など	32-0517
	障がい者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0541
健康福祉課	健康対策係	健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付、精神保健など	32-1177
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、高齢化対策など	32-0515
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保護人権課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	人権・同和対策、男女共同参画、隣保館など	32-0765
環境保全課	環境衛生係	ごみの収集、し尿処理に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄対策、脱炭素社会など	
産業観光課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進、公共交通など	32-0519
	観光推進係	観光振興、ふるさと納税、いこいの里千石など	
農政課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土地対策課	用地係	用地取得、登記、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	国県道整備対策係	県道の整備に関することなど	
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	32-0566
建築都市課	建築都市係	都市計画、建築協定、緑化対策、市営住宅の維持管理、空き家対策など	32-0955
	住宅管理係	市営住宅の入退去、特定鉱害復旧等申出事務、住宅改修助成など	
土木建設課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	32-0799
	建設係	土木施設の新設改良工事など	
	農業土木係	農業用施設等の維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業など	
下水道課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会計課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水道課	業務係	水道料金に関することなど	32-1005
	給水係	水道の給水など	
	浄水係	浄水場の維持管理など	
教育総務課	教育総務係	幼稚園・小中学校の維持管理、スクールバスの運行、教育財産の管理など	32-1007
	学校給食係	学校給食、学校給食施設の維持管理など	34-5525
学校教育課	学校教育係	児童・生徒就学、奨学金、通学区域、学級編制、教育支援センターなど	32-1007
	指導係	授業づくりに関すること、生徒指導に関すること、教職員の人材育成など	32-9292
社会教育課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進係	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興、人権教育・啓蒙など	32-3210
議会事務局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農業委員会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監査事務局	監査事務局	監査委員・公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課名	係名	業務内容	電話番号
市民窓口課	市民窓口係	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、児童・母子福祉、ごみ、し尿など	52-1111